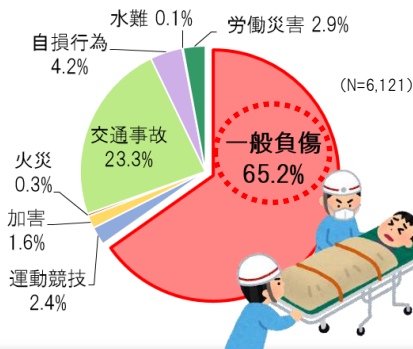


外傷予防
の取組

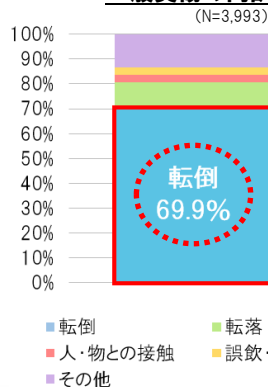
事故やけがで入院すると、体の痛みに加え、不自由な生活を強いられます。
今回は、鹿児島市の救急搬送データなどからみえてきた、受傷の傾向などをご紹介します！

鹿児島市の救急搬送の状況

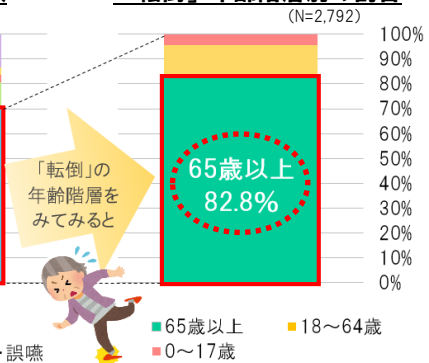
鹿児島市消防局の救急搬送データ(2021年度)によると、**事故やけがによる救急搬送の約65%が一般負傷**によるものであり、さらに**そのうち約7割を「転倒」**が占めています。また、「転倒」のうち、年齢区分をみても**65歳以上の高齢者が約8割**を占めています。中でも**自宅内、特に居室(居間、寝室など)、玄関、廊下**などでの転倒が多く、日常のなかで多く発生しているようです。

事故やけがによる
救急搬送人数の割合

一般負傷の内訳



「転倒」年齢階層別の割合



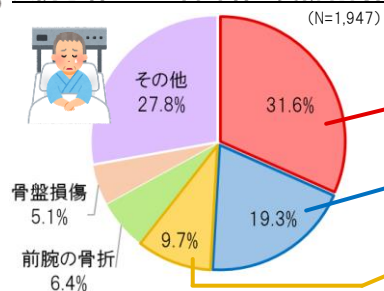
高齢者の事故やけがによる入院について

事故やけがによる入院患者について分析^{※1)}すると、**高齢者が約7割**を占めており、入院につながるけがを負うリスクが高くなっています。高齢者の受傷部位では**股関節や胸椎・腰椎、頭蓋など体の“かなめ”となる部分**の受傷が多く、退院までの**医療費^{※2)}は100万円以上**かかってしまいます。また、受傷内容によっては、**平均入院日数が約40日**と長期にわたり、**自宅へ退院する割合も約2割**と低く、転院や施設への入所で退院するケースも多いようです。事故やけがで入院をすると、日常生活が奪われるだけでなく、経済的損失も大きいことがデータからわかります。

※1)鹿児島市内3病院に「外傷・熱傷・中毒」により入院した患者(救急入院を含む)の医療費等のデータ(2021年度)に基づく

※2)医療費は入院期間中(回復期含む)に要したすべての請求額(10割)。食糧費、自由(自費)診療分除く。自賠責保険・労働災害保険を除く。医療機関別係数を除く。

入院患者のうち高齢者の受傷別割合



受傷トップ3	平均医療費	平均入院日数	自宅へ退院した割合
股関節・大腿近位骨折	約220万円	41日	約2割
胸椎・腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)	約190万円	40日	約5割
頭蓋・頭蓋内損傷	約120万円	25日	約6割

自宅における
転倒予防の
ポイント

住み慣れた自宅は安全だと思いがちですが、わずかな段差でもつまずく原因となります。

★転倒しないために★

- 家の中ではスリッパをはかず、素足かすべり止めつきの部屋履きを。
- 室内の電化製品のコードに足を引っ掛けないようにまとめておく。
- 足元が暗い場所に照明を設置する。
- 深夜、充分に目覚めていないままのトイレ移動は危険。
- 段差に目印のテープを貼る。
- 1,2cmの小さな段差こそ気をつける。



など